

## 一切経山山行報告

【山行日】2022年 10月 19(水) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 5800円

【メンバー】CL:鈴木ユ、 SL:石澤、  
小林、福島、

【コースタイム】栃木市運動公園 P4:00＝

浄土平 P6:20/6:35～酸ヶ平避難小屋 7:10/7:20

～一切経山 7:50/8:00～家形山 8:40/8:45～

一切経山 9:30～酸ヶ平避難小屋 10:05/10:15

～鎌沼 10:45/11:20～浄土平 P12:00/12:05～吾

妻小富士 12:30/12:40～浄土平 P13:00/13:10＝栃木市運動公園 P16:00

紅葉と展望が良い山に登りたいと思い、両方兼ね備えた山「一切経山」に登る計画を立てた。平日山行で案内を送ると3名申し込みがあり、4名で栃木市運動公園を出発する。東北道を北上し、



福島西 IC で降りて国道115号線から磐梯吾妻スカイラインを進む。磐梯吾妻スカイラインは紅葉が丁度見頃で、皆さんは「ウワ～綺麗、これを見られただけでも満足！！」と喜んでいました。

浄土平駐車場に到着しレストハウス前に車を止め、出発の準備をしてトイレとストレッチを済ませ出発する。ビジターセンター脇を通り、広い駐車場を抜けて登山道に入る。右側に山腹から上がる噴気を見ながら、酸ヶ平へ向かって登って行く。灌木の紅葉の中を進むと傾斜が緩くなり、木道

を進むと酸ヶ平分岐に着く。分岐を右にほんの少し登ると、酸ヶ平避難小屋が建っていて小休止す

る。小屋の前には立派なトイレが設置され、協力金を入れてトイレを使用する。小屋からは沢沿いの道を登って行き、ガレた急坂を登ると稜線の広い緩やかな道となる。右下には吾妻小富士の火口が見え気持ち良く歩いて行くと、まもなく一切経山山頂に着く。山頂には大きな石積みと祠があり、さえぎる物のない大展望が待っていた。記念写真を撮ったら北側の端まで行き、眼下に輝く「魔女の瞳」に大感動。

風が強いが青空を映し、コバルトブルーに妖しく輝いていた。魔女の瞳に向かってザレた登山道を下り、沼の畔で小休止し間近で妖しいブルーを覗きこむ。沼の中央から畔に掛けて微妙な濃



淡が美しく、「やっぱりここまで来ないと見られない景色だね」と満足そう。

ここからさらに沼の畔を進み、左に家形山へ向かって急坂を登って行く。稜線に出て高湯温泉から



の道と合さり、左にほんのひと登りで家形山山頂に着く。山頂には小さな石積みがあるだけで、奥のシラビソの林に小さな札が掛かっている。東から南側の展望が開け、魔女の瞳や一切経山を反対側から楽しむことが出来る。展望を楽しみながらナシや菓子をいただき、記念写真を撮ったら下山開始する。往路を一切経山から酸ヶ平避難小屋まで戻り、トイレ済ませたら鎌沼へ向かう。酸ヶ平分岐を右に進み、酸ヶ平湿原の木道を辿って行く。やがて鎌沼の畔を歩くようになり、沼の畔の休憩所でランチタイムとする。

お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンを美味しくいただいた。ここからも沼の畔を歩き、姥ヶ原から左に下って浄土平へ向かう。ここからの景色が素晴らしく、ダケカンバの紅葉や吾妻小富士を見ながら楽しく下ることが出来た。浄土平まで下ると観光客で賑わっており、トイレを済ませたら直ぐに吾妻小富士へ向かう。吾妻小富士の登山口から火口縁まで登り、時計回りに火口を一周する。半分くらい登った所が吾妻小富士山頂で、大きな岩の上に登り展望を楽しみながらスイートポテトをいただいた。火口縁からの展望は素晴らしく、山頂下の樹海が錦の絨毯になっており、雲の間から陽が差すと紅葉が一段と鮮やかに見えた。火口縁の後半は、一切経山の雄大な火山風景を楽しみながら下れる。大自然の息吹を感じられる光景は、ここからしか見られない絶景である。浄土平駐車場まで戻り、靴を履き替えたら帰路につく。帰路は磐梯吾妻スカイラインを反対側に下り、紅葉を楽しみながらのドライブに大喜び。陽射しに照らされた紅葉は一段と鮮やかで、カーブを切るときに歓声上がる。天気に恵まれて紅葉と展望を十分に楽しみ、狙い通りの大満足の山行となった。



だいた。火口縁からの展望は素晴らしく、山頂下の樹海が錦の絨毯になっており、雲の間から陽が差すと紅葉が一段と鮮やかに見えた。火口縁の後半は、一切経山の雄大な火山風景を楽しみながら下れる。大自然の息吹を感じられる光景は、ここからしか見られない絶景である。浄土平駐車場まで戻り、靴を履き替えたら帰路につく。帰路は磐梯吾妻スカイラインを反対側に下り、紅葉を楽しみながらのドライブに大喜び。陽射しに照らされた紅葉は一段と鮮やかで、カーブを

切るときに歓声上がる。天気に恵まれて紅葉と展望を十分に楽しみ、狙い通りの大満足の山行となった。